

国際室 だより

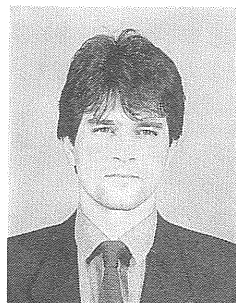
No. 49

第23回沿海鉱物資源探査集団研修 コースはじまる

昭和42年度に開設された本研修コースは 本年度で第23回目を迎え これまでの研修終了者数は34ヶ国 234名にも達します。 本年2月には 11年ぶりにペルー・ブラジルを対象に巡回指導班が派遣され 帰国研修員の活動情況 各国内における沿岸海域の鉱物資源探査の実情等の調査が実施されました。 この巡回指導については別途詳しく報告がなされるはずですが 巡回指導における帰国研修員との面談では 研修で学んだ事以上に日本での生活 特に 皆様方に親切にいただいた事が研修員にとっては深い思い出として残っている事を知らされました。 さて 本年度は ブラジル キューバ インドネシア 韓国 マレーシア フィリピン シェラ・レオーネ タイの9ヶ国より10名の研修員を迎え5月29日より技術研修が開始されました。 はたして今年の研修員は如何なる思い出を残し 帰国いたしますやら。 それでは各研修員を御紹介し 日本と日本人についての第一印象をそれぞれ研修員に尋ねてみましょう。

しい 悪いことは悪い だからこそ我々は日本人を信じていることができるのです。 もうひとつ重要な点は高度な意味での「自己批判」であります。 日本人々は誤を犯すことを大変気にし やることすべてが上首尾であるようにとても丁寧でかつ慎重に事を運びます。 また常に他人の人格を尊重しようと努めています。 さらに日本では思考の同一性を発見することが容易であります。 何故ならおそらく誰もがいい学校で勉強する機会に恵まれ世代から世代への知識を受け継ぐことができるためでしょう。 これ故に日本は短い間に非常に発展した段階に到達することができたのでしょう。 ここでは他の多くの国で見られる如き 互いに傷つけ反目しあう姿は見られません。 日本人々に見られるもうひとつの重要な点は 自然 疫学 環境問題への配慮であります。 日本人の人々は植生の保護に強い関心を払っています もっと広義には自然科学そのものに強い関心を払っていると言えます。 なぜなら日本人々は庭園 花木 岩石 山々等々を大変好んでいるようです。 日本における自然を含めた歴史の展開は非常に速く それが日常生活に深くかかわりかつ影響を及ぼしているようです。

Luiz Fernando Guimaraes Caddah (ブラジル) 通称ルイス ブラジル石油公社 (ペトロプラス) 地質技師
これまで約40日日本に滞在しました。 これは多様で複雑な日本の生活を知るにはまだ不十分な時間と言えます。 文化 歴史 作法 芸術 社会的行動など 毎日新しいものに遭遇しま

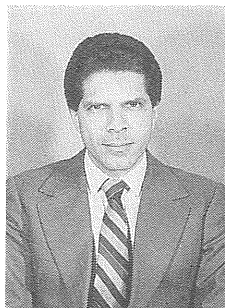


す。 次から次とはじめてのものばかりで そうしたもの起源を知ることなどとてもできるものではありません。 こうして日本での時間はあっという間に過ぎていてしまいます。

日本人々の特質で印象的なのは正直さと正義感であります。 つまり 結果はどうであれ 正しいことは正

1989年9月号

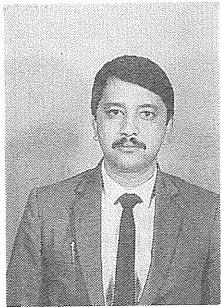
Romel Ojeda Cesar (キューバ) 通称ロメル 国立地球物理公社 技術主任



私は 本年5月10日に来日しました。 まだほんの数箇所しか知りませんが この国は素晴らしい人々のいるとても良い国だということが分りました。 成田空港に到着して以来 他の国ではありえないような温

かい歓迎を受けたのでその後ずっといい気分です。 日本人々は仕付けが良く 尊敬できる人々です。 こんなすごい国には行ったことがありません。 日本についての記事やニュース などを見たり読んだりしていますが 実際にここに住んで自分の目で確かめる

ことほど確かなことはありません。本当に素晴らしいいろいろな日本人と会ったり他の場所を訪問したりする度に同じ印象を受けます。もうひとつ気がついたのは日本が極めて衛生的な国であることです。私は若干生態学について学んだこともあり清潔なこの国はどこにいても居心地がいいです。沿海コースについても満足です。ひとつにはこれまでの研修で以前私の知らなかった方法を学ぶことができたことまたこのような探査手法に関する知識を得ることが真の来日の理由であるためです。私は地球物理学家ですから物理探査の方法について深く学びたいと思っています。しかしながら地球科学の進歩はめざましくまたすべての分野が互に関連しあっています。このコースでは広い分野について学ぶことができ沿海鉱物資源探査の多くの方法を習得することは私個人のみならず我国にも有益なことであると思います。またこれは本コースの功績でもあり将来の日本と我国との関係発展に大きく寄与するであろうと思われます。また忘れてならないのは周りの人々の温い協力です。家族と離れて日本にいる我々の生活を楽しいものにしてくれるからです。私にこの素晴らしい国で本コースに参加させてくれた JICA、GSJ および日本政府に感謝いたします。



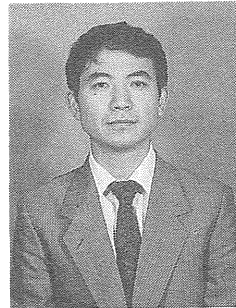
Pankaj Narayan Baruah
(インド) 通称バルア インド石油公社 油層工学校 師長

日の昇る国 日本に来るのはこれが初めてです。長いこと心に描いていた夢がやっと実現しました。学生時代のみならず仕事についてからも穏やかで愛すべき人々の住むこの小さな

島国についていろんなことを伝聞してきました。僕はいつかきつと行ってみたいと思っていましたが国際協力事業団の沿海鉱物資源探査コースの研修員に選ばれやと来日が実現しました。

本年5月11日東京国際空港に到着し筑波国際ナショナルセンター(TBIC)に連れてこられました。フロントの人達が僕を温かく迎えその後僕に割り当てられた部屋まで案内してくれました。部屋に入るとすべてがきちんと整理されており暮らし易そうに感じました。このことだけでも当地の人々の誠実さと温かさが分かりました。TBICでの生活はとても快適で施設ユーティリティや規則についても明確に説明がなされました。

これも日本人々が外国人に対しいかに気遣い手厚いもてなしをするかを物語っています。研修室は大変配慮がいきとどいていて研修員は講義の成果を十二分に得れるものと思われれます。コースのスタッフは私達が無駄な気遣いをしなくて済むよう充分な配慮をしてくれています。私達は研修についてであれ個人的なことについてであれ何の遠慮もしないで質問することができます。特に僕の第一印象を述べるまでもなくここではすっかりくつろぎ元気に過しています。高度な生活水準現代的生活様式をもたらしたその途方もない科学技術の発展を遂げたにもかかわらず日本人々は心で人と接しています。温かみ誠実さ献心わけへだてのなさみんな同じ人間だという一体感を感じます。私達も平和と静穏さとともにその繁栄の道をたどっていきたいと思います。日本は僕が長年心に描いていたとおりの国でした。



Min Geou Houng (韓国)
通称ミン 韓国動力資源研究所海洋地質部海洋地質研究員

私にとってはこれが2回目の来日です。最初の来日は4年程前のことですがその時の滞在日数は23日間という短いものでした。次に私の日本についての印象を述べます。ま

ず神社仏閣の祭礼・祭祀等の伝統や文化がよく維持・保存されていると思います。人々がこうしたことを念頭においていることに私は感動を覚えました。北海道研修旅行中はバスであちこち見てまわる機会を得ました。つくばと比べると自然環境が大分違ってきます。

韓国も寒い時はあるのですがこの時期雪を頂いた峰々を仰ぐことができるとは思ってもみませんでした。それにしても北海道では太古からの森林がよく保存されているので驚きました。これは我国と比較した場合とくに顕著な相異といえます。また機械装置や設備の自動化及びリモート・コントロール化が大変進んでいることは情報としては知っていましたが今回各所を見学しその発達程度および規模にあらためて驚きました。最後にもうひとつ強い印象を受けたことは日本人々の生活と韓国の人達のそれとは極めて高い類似性があるという点です。